



姫路城西御屋敷跡庭園

好古園



姫路城西御屋敷跡庭園 好古園

〒670-0012 姫路市本町68 TEL(079)289-4120 FAX(079)289-4130

レストラン
活水軒

庭園を眺めながら
食事ができるレストラン



●ご予約・お問い合わせ・・・TEL. 079-289-4131
営業時間 10:00～16:00(季節により時間延長もあります)

茶室
双樹庵

本格的数寄屋造りの茶室で
優雅なひとときを




一席500円(お菓子付き)

●ご予約・お問い合わせ・・・ TEL. 079-289-4121
営業時間 12:00～16:00(最終受付 15:40)
休業日 12月21日～1月5日

入園料金

区分	個人	団体割引
		30人以上 1人につき
大人(18歳以上)	310円	250円
小人(小学生・中学生・高校生)	150円	120円

※小学校就学前の方は無料です。 ※18歳で高校生の場合は、小人料金です。

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(季節により時間延長もあります)

休園日 12月29日・30日



交通 姫路駅前→神姫バス約5分 姫路城・好古園前下車
姫路駅前→徒歩約15分

散策コース 好古園→姫路城・・・徒歩約5分
好古園→姫路文学館・・・徒歩約10分
好古園→姫路市立美術館・県立歴史博物館・・・徒歩約10分



姫路城西御屋敷跡庭園「好古園」は、世界文化遺産国宝姫路城を借景に、姫路市制百周年を記念して造営され、平成4年に開園した池泉回遊式の日本庭園です。

昭和60年以來の発掘調査で確認された西御屋敷跡・武家屋敷跡・通路跡などの地割りを活かした九つの趣の異なった庭園群で構成され、その面積は約10,000坪(3.5ha)有ります。

本多忠政時代 元和4年(1618)に造営され、榊原政岑(吉宗の時代)が新吉原から高尾太夫を落籍し、住ませたといわれる西御屋敷跡に造られた「御屋敷の庭」、本格的数寄屋建築の茶室・双樹庵のある「茶の庭」、姫路城の眺めを取り入れた「流れの平庭」・「夏木の庭」・「築山池泉の庭」などの庭園群と江戸時代を偲ばせる築地塀や屋敷門・長屋門、渡り廊下で結ばれた活水軒と潮音齋の付まいが特別史跡地に相応しい歴史的景観を創り出しています。

「好古園」の愛称は、江戸時代の最後の姫路藩主酒井家によって、この庭園の入口付近に移設され、文武両道の振興を図った藩校「好古堂」に因んでいます。



姫路城を望む日本庭園「好古園」 散策をお楽しみください

② 活水軒（レストラン）
御屋敷の庭を眺めながらお食事が出来ます。



③ 渡り廊下
「唐傘割工法」による中央の曲線は庭園のシンボルです。この廊下を歩くとき、太鼓に似た音の余韻と左右の眺めが印象的です。



④ 潮音齋

中秋の名月を愛でるのに最良の方向に向けて建ててあります。観庭台から、姫山樹林を借景にした雄滝と大池の眺めは壮観です。



⑤ 苗の庭

江戸時代に栽培された園芸植物を育成する庭園です。



① 御屋敷の庭
姫路藩主の下屋敷があったこの庭は、姫山樹林を借景とした池泉回遊式庭園で、本園最大の庭です。
南側の大滝は深山幽谷の流れの趣にあふれ、瀬戸内海をイメージした大池には錦鯉が彩りを添えています。



⑥ 茶の庭

茶室「双樹庵」を中心に、玄関前の庭、広間の庭、小間の庭に、飛び石、蹲踞、灯籠、腰掛け待合などが配置された茶庭です。



⑦ 双樹庵（茶室）

裏千家第十五代家元の設計・監修により京都の数寄屋大工が技術の粋を傾けた本格的茶室で、姫路城天守閣に向かって建てられた茶室では抹茶がいただけます。

⑧ 流れの平庭

水の流れもゆったりとした岸辺に四阿「流翠亭」が建つ、明るく伸びやかな庭園です。



⑬ 竹の庭

十五種類の竹類を植栽した庭園で中央に八角の和傘をイメージした四阿「聞竹亭」を配しています。



⑫ 築山池泉の庭

モミジやクロマツなどが映える典型的な日本庭園です。池の北側に亀を、南側には鶴をイメージした岩島を配しています。池上にせりだした茅葺四阿「臨泉亭」が風情を漂わせています。



⑪ 花の庭

江戸時代に親しまれた山野草が植栽された庭園で、四阿は「花笠亭」です。



⑩ 松の庭

瀬戸内地方のアカマツ林をイメージした庭園です。



⑨ 夏木の庭

夏木（落葉樹）ばかりを配し、新緑から紅葉まで季節感あふれる庭園で四阿「鷺望亭」から姫路城天守閣を望めます。

